

事務事業名	小学校就学支援事業				No	10				
					所管部課	学校教育課				
事業概要	経済的理由により就学困難と認められる児童の保護者に就学援助事業（学用品費、修学旅行費、学校給食費、医療費などの支給）を実施									
総合計画体系	章	節	分野	施策	重点プロジェクト					
	4	/	2	5						
	【文化・教育】			就学前～小・中学校教育	教育支援の充実と地域と学校の連携推進					
総合計画・基本構想・基本方向	確かな学力と豊かな人間性、たくましく健やかな体を育むなど、質の高い教育により一人一人が輝く京田っ子が育つまちを目指します。									
まちづくりプラン・基本方針	・豊かな人間性をもち、多様なライフステージで活躍できる京田っ子を育むため、知・徳・体の調和と、個性を伸ばしながら学力を高める教育を基本として、社会の変化に柔軟に対応できる力を育む教育を推進します。									
事業実績	○就学援助（要保護児童数 12人・準要保護児童数 619人） ・就学困難な児童に対して、学用品費、修学旅行費、学校給食費、医療費等の支給によって就学を援助し、児童の学習意欲の向上及び保護者の負担軽減を図った。新入学学用品費については前倒し支給を行い、3月初旬での支給を実施した。									
予算費目	会計	款	項	目	大事業					
	一般会計	教育費	小学校費	教育振興費	要準要保護児童援助費					
事業費	決算額（千円）			決算額内訳（千円）						
	45,080			国庫支出金	府支出金	地方債	受益者負担	その他	一般財源	
30									45,050	
事業の成果										
指標	単位	目標	実績	達成率	指標設定の考え方					
適正な就学援助費対象者への支給	%	100	100	100.0%	対象者への支給を適正に実施する。					
1次評価	達成度	選択理由								
	A. 目標を達成している（達成率100%以上）	学校を通じて制度を周知するとともに、申請に基づいて経済的理由により就学困難な児童の保護者に対し遅滞なく就学援助を行い、負担軽減と教育の機会均等に寄与した。								
2次評価	事業の方向性	選択理由								
	B. 維持	引き続き、制度の周知を図り就学援助を行う。								

事務事業名	コミュニティ・スクール推進事業				No	11		
					所管部課	学校教育課		
事業概要	普賢寺小学校で小規模特認校制度による市内全域からの入学を受け入れるとともに、学校運営協議会の設置により、保護者及び地域住民の学校運営への参画を進め児童生徒を健全育成							
総合計画体系	章	節	分野	施策	重点プロジェクト			
	4	/	2	5				
	【文化・教育】			就学前～小・中学校教育	教育支援の充実と地域と学校の連携推進			
総合計画・基本構想・基本方向	確かな学力と豊かな人間性、たくましく健やかな体を育むなど、質の高い教育により一人一人が輝く京田辺っ子が育つまちを目指します。							
まちづくりプラン・基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな人間性をもち、多様なライフステージで活躍できる京田辺っ子を育むため、知・徳・体の調和と、個性を伸ばしながら学力を高める教育を基本として、社会の変化に柔軟に対応できる力を育む教育を推進します。 ・不登校やいじめ問題を解決するための支援体制を充実するとともに、地域と学校の連携による通学路の安全対策などを推進します。 ・子どもを取り巻く環境や人口動向などを踏まえた教育体制の充実や学校施設の長寿命化を進めるとともに、中学校給食について、早期実現を目指します。 							
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会（愛称：なのはな委員会）の開催 ・学校運営協議会を2回開催し、学校経営方針などについて協議した。なお、令和4年度は府の「コミュニティスクール研修」事例として、普賢寺小学校の取組を発表した。 ○小規模特認校制度 ・PRパンフレットの作成や学校説明会の開催などによって、小規模特認校制度をお知らせし、校区外から6名の児童が転入学した。 							
予算費目	会計	款	項	目	大事業			
	一般会計	教育費	教育総務費	事務局費	事務局運営費			
事業費	決算額（千円）			決算額内訳（千円）				
	149			国庫支出金	府支出金	地方債	受益者負担	その他
149								
事業の成果								
指標	単位	目標	実績	達成率	指標設定の考え方			
学校運営協議会開催数	回	3	2	66.7%	過去の実績に照らし、同水準である年3回開催を維持する。			
ふるさと体験学習開催回数	回	2	2	100.0%	過去の実績に照らし、同水準である年2回開催を維持する。			
1次評価	達成度	選択理由						
	B 概ね目標を達成している（達成率80%以上）	学校運営協議会は新型コロナウイルス感染症拡大のため2学期の開催ができなかったものの、地域との連携により田んぼの学校（5年生）及び総合的な学習「ふるさと普賢寺」（6年生）を予定どおり実施した。						
2次評価	事業の方向性	選択理由						
	B. 維持	引き続き小規模特認校制度による児童の受け入れと学校運営協議会を中心とした「地域とともにある学校づくり」を進める。						

事務事業名	通学路等安全対策事業			No	12			
				所管部課	学校教育課			
事業概要	地域と学校、行政が協力し、児童が安全に安心して通学できるように、通学路の通学方法や危険箇所の把握と改善対策を実施するとともに、児童に対する防犯対策を推進							
総合計画体系	章	節	分野	施策	重点プロジェクト			
	4	/	2	5	0			
【文化・教育】	就学前～小・中学校教育		教育支援の充実と地域と学校の連携推進	I-4				
総合計画・基本構想・基本方向	確かな学力と豊かな人間性、たくましく健やかな体を育むなど、質の高い教育により一人一人が輝く京田辺っ子が育つまちを目指します。							
まちづくりプラン・基本方針	・不登校やいじめ問題を解決するための支援体制を充実するとともに、地域と学校の連携による通学路の安全対策などを推進します。							
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ○通学路安全推進会議の開催（1回） ○通学路安全点検踏査事業実施（1回） ○安全対策必要箇所 2箇所追加 ○平成24年度～令和4年度実施状況（完了135箇所・実施中6箇所・未定3箇所） ○PTA通学路安全要望について対応 							
予算費目	会計	款	項	目	大事業			
	一般会計	教育費	教育総務費	事務局費	学校教育支援費			
事業費	決算額（千円）		決算額内訳（千円）					
	122		国庫支出金	府支出金	地方債	受益者負担	その他	一般財源
				80				42
事業の成果								
指標	単位	目標	実績	達成率	指標設定の考え方			
通学安全推進会議の開催	回	2	1	50.0%	過去の実績に照らし、同水準である年2回の開催を目指す			
安全対策実施箇所数	箇所	9	9	100.0%	対策予定計画と実施状況			
1次評価	達成度	選択理由						
	C 目標を達成していない（達成率80%未満）	通学路安全推進会議については、6月の第1回会議で安全対策実施箇所の確認を行って着実に取り組みを進めたことから、第2回会議の開催を要しなかったが、1月に会議構成員の参加により新小学校区で通学路安全踏査事業を実施した。						
2次評価	事業の方向性	選択理由						
	B. 維持	引き続き通学路安全推進会議において、安全対策必要箇所の対策を促進する。						

事務事業名	中学校給食施設整備事業			No	13	
				所管部課	学校給食課	
事業概要	中学校完全給食の早期実現と、ゆとりを持った給食時間のなかで、地産地消などによる京田辺らしい食育を実現するため、施設整備と運営手法について、最も効率的、効果的な方法を検討し、受入中学校への搬入路、学校給食施設及び受入設備などを整備					
総合計画体系	章	節	分野	施策	重点プロジェクト	
	4		2	6	0	
	【文化・教育】		就学前～小・中学校教育	学校施設の長寿命化と学校給食の充実	I-3	
総合計画・基本構想・基本方向	確かな学力と豊かな人間性、たくましく健やかな体を育むなど、質の高い教育により一人一人が輝く京田辺っ子が育つまちを目指します。					
まちづくりプラン・基本方針	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな人間性をもち、多様なライフステージで活躍できる京田辺っ子を育むため、知・徳・体の調和と、個性を伸ばしながら学力を高める教育を基本として、社会の変化に柔軟に対応できる力を育む教育を推進します。 子どもを取り巻く環境や人口動向などを踏まえた教育体制の充実や学校施設の長寿命化を進めるとともに、中学校給食について、早期実現を目指します。 					
事業実績	<p>(仮称) 学校給食センター及び中学校配膳室に係る実施設計を策定した。</p> <p>(仮称) 学校給食センター新築等工事を着工した。</p>					
予算費目	会計	款	項	目	大事業	
	一般会計	教育費	中学校費	学校建設費	中学校給食施設整備事業費	
事業費	決算額(千円)		決算額内訳(千円)			
	60,900	1,831	6,700	42,100		10,269
事業の成果						
指標	単位	目標	実績	達成率	指標設定の考え方	
中学校給食基本計画の策定の進捗率	%	100	100	100.0%	京田辺市中学校給食基本計画を策定する。	
給食調理施設基本設計及び実施設計の策定の進捗率	%	100	100	100.0%	給食調理施設基本設計及び実施設計の策定に着手する。	
(仮称) 学校給食センター等新築工事	%	1	1	100.0%	中学校給食施設の整備を進める。	
1次評価	達成度	選択理由				
	A. 目標を達成している(達成率100%以上)	中学校給食施設の基本設計及び実施設計を策定し、(仮称) 学校給食センター新築等工事に着手した。				
2次評価	事業の方向性	選択理由				
	A. 拡充	令和6年4月からの中学校給食の開始に向け、(仮称) 学校給食センター新築工事及び中学校配膳室等の工事を令和5年度中に完了する。				

事務事業名	地産地消を推進する小学校給食運営事業			No	14		
				所管部課	学校給食課		
事業概要	市立小学校の給食施設の適正な維持管理を行い、安全・安心で快適な食育環境の確保を図り、児童が安心できる学校給食を提供。地元産農産物を利用し地産地消を推進						
総合計画体系	章	節	分野	施策	重点プロジェクト		
	4	/	2	6			
【文化・教育】			就学前～小・中学校教育	学校施設の長寿命化と学校給食の充実			
総合計画・基本構想・基本方向	確かな学力と豊かな人間性、たくましく健やかな体を育むなど、質の高い教育により一人一人が輝く京田辺っ子が育つまちを目指します。						
まちづくりプラン・基本方針	・豊かな人間性をもち、多様なライフステージで活躍できる京田辺っ子を育むため、知・徳・体の調和と、個性を伸ばしながら学力を高める教育を基本として、社会の変化に柔軟に対応できる力を育む教育を推進します。						
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ○市立小学校での学校給食 ○児童に安全で栄養バランスのとれた給食を提供した（1日約4,700食・年間給食実施回数185回） ○「まるごときょうとの日」の実施（9月・12月） ○地産地消給食の実施 ○お茶給食の実施（年10回） ○学校給食調理業務の民間委託（7校） <ul style="list-style-type: none"> ・民間委託校のうち契約更新業務（田辺東小、桃園小） ・直営校を民間委託化（田辺小） 						
予算費目	会計	款	項	目	大事業		
	一般会計	教育費	小学校費	学校管理費	学校給食費		
事業費	決算額（千円）		決算額内訳（千円）				
	203,391		国庫支出金	府支出金	地方債	受益者負担	その他
203,391							
事業の成果							
指標	単位	目標	実績	達成率	指標設定の考え方		
まるごときょうとの日実施回数	回	2	2	100.0%	前年度実績（2回）に照らし、同水準である年2回を目指す。		
お茶給食	回	10	10	100.0%	毎月食育の日献立でお茶給食を実施（6月、8月を除く）。		
1次評価	達成度	選択理由					
	A. 目標を達成している（達成率100%以上）	「まるごときょうとの日」や「お茶給食」などの地元農産物を活用した給食献立の策定に加え、衛生管理の徹底と栄養バランスのとれた給食の提供を行った。					
2次評価	事業の方向性	選択理由					
	B. 維持	地元産食材を活用した給食の推進に努めるとともに、小学校給食調理業務の全村民間委託化による安定した給食供給体制を構築する。					

事務事業名	青少年健全育成事業			No	15			
				所管部課	社会教育課			
事業概要	地域・学校パートナーシップ事業、放課後子ども教室事業、二十歳のつどいなどの実施							
総合計画体系	章	節	分野	施策	重点プロジェクト			
	4		4	1				
	【文化・教育】		社会教育	青少年の健全育成				
総合計画・基本構想・基本方向	市民が学びやスポーツに参加する機会を充実するなど、だれもが生きがいをもって学び続けるまちを目指します。							
まちづくりプラン・基本方針	・次代を担う青少年が、様々な立場の人々との交流を通じて社会への理解を深めることができるよう、社会貢献や社会参加に関わる機会の創出に努めます。また、家庭、地域、学校、事業者、行政などが連携して、悩みや相談に対応できる体制を整備するなど、青少年が明るく健全に育つ環境づくりを推進します。							
事業実績	<p>○地域・学校パートナーシップ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざした歴史、文化、自然、産業、スポーツなどを中心にした体験学習で子どもの自主性、創造性、協調性、責任感を育み、地域の世代間交流を目的とした「地域・学校パートナーシップ事業」を開催した。 <p>○放課後子ども教室事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が放課後を安全で健やかに過ごせる居場所づくりと、地域の方との世代間交流をねらいとし、市内2小学校で開催した。なお、実績値が目標値を下回っているのは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業実施を見合わせたもの。 <p>○二十歳のつどい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・式典と二十歳のスタッフが企画・進行をした二十歳のつどいを開催した。 ・新たに成人になる18～20歳を対象に成人メッセージを送付した。 							
予算費目	会計	款	項	目	大事業			
	一般会計	教育費	社会教育費	社会教育総務費	青少年健全育成事業費			
事業費	決算額（千円）		決算額内訳（千円）					
	3,876		国庫支出金	府支出金	地方債	受益者負担	その他	一般財源
				297				3,579
事業の成果								
指標	単位	目標	実績	達成率	指標設定の考え方			
地域・学校パートナーシップ事業開催回数	回	27	23	85.2%	各小学校（9校）で3回開催する。			
放課後子ども教室事業開催校区数	校区	9	2	22.2%	各小学校区（9校）で開催する。			
1次評価	達成度	選択理由						
	C 目標を達成していない（達成率80%未満）	学習指導要領の改訂を受け、体育館の使用調整が難しくなってきたこと、また、企画委員の人材確保が難しいなか、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら可能な範囲で実施した。						
2次評価	事業の方向性	選択理由						
	B. 維持	体育館の使用調整、企画委員の人材育成により、開催回数の確保を目指す。						

事務事業名	家庭教育推進事業			No	16	
				所管部課	社会教育課	
事業概要	地域子育てセミナー、子育て理解講座、地域子育て井戸端会議を実施					
総合計画体系	章	節	分野	施策	重点プロジェクト	
	4 【文化・教育】		4 社会教育	1 青少年の健全育成		
総合計画・基本構想・基本方向	市民が学びやすスポーツに参加する機会を充実するなど、だれもが生きがいをもって学び続けるまちを目指します。					
まちづくりプラン・基本方針	・次代を担う青少年が、様々な立場の人々との交流を通じて社会への理解を深めることができるよう、社会貢献や社会参加に関わる機会の創出に努めます。また、家庭、地域、学校、事業者、行政などが連携して、悩みや相談に対応できる体制を整備するなど、青少年が明るく健全に育つ環境づくりを推進します。					
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ○地域子育てセミナー ・小学校区において家庭の教育力の向上と保護者の交流を目指し「地域子育てセミナー」を開催した。 ○子育て理解講座 ・中学生を対象に、命の大切さや子どもを育てる親の気持ちを理解できるように、「子育て理解講座」を実施した。 ○地域子育て井戸端会議 ・市立幼稚園において、家庭の教育力の向上と保護者の交流を目指し、「地域子育て井戸端会議」を実施した。 ※地域子育てセミナー及び地域子育て井戸端会議の実績値が目標値を下回っているのは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業実施を見合わせたもの。					
予算費目	会計	款	項	目	大事業	
	一般会計	教育費	社会教育費	社会教育総務費	家庭教育推進事業費	
事業費	決算額（千円）		決算額内訳（千円）			
	157		国庫支出金	府支出金	地方債	受益者負担 その他 一般財源
事業の成果						
指標	単位	目標	実績	達成率	指標設定の考え方	
地域子育てセミナー開催回数	回	9	2	22.2%	全小学校（9校）での年1回の開催を目指す。	
子育て理解講座開催回数	回	3	3	100.0%	全中学校（3校）での年1回の開催を目指す。	
地域子育て井戸端会議開催回数	回	8	6	75.0%	全幼稚園（8園）での年1回の開催を目指す。	
1次評価	達成度	選択理由				
	C 目標を達成していない（達成率80%未満）	地域子育てセミナー及び地域子育て井戸端会議については、新型コロナウイルス感染症の影響で実施回数が少なくなったが、子育て理解講座については、講師派遣の調整を行い実施することができた。				
2次評価	事業の方向性	選択理由				
	B. 維持	引き続き家庭教育の重要性とその役割について、子育て世代を中心に理解を深める事業に取り組む必要があるため開催を働きかける。				

事務事業名	生涯学習推進・支援事業			No	17		
				所管部課	社会教育課		
事業概要	生涯学習社会の実現を目指すため、子どもの居場所づくり事業、人材バンクの派遣登録、ヒューマンカレッジの実施など、学習環境の総合的な整備、充実及び心豊かな社会をつくる自発的な学習活動を推進						
総合計画体系	章	節	分野	施策	重点プロジェクト		
	4		4	2			
	【文化・教育】		社会教育	生涯学習の機会の充実・活動支援・人材育成			
総合計画・基本構想・基本方向	市民が学びやスポーツに参加する機会を充実するなど、だれもが生きがいをもって学び続けるまちを目指します。						
まちづくりプラン・基本方針	・市民が「いつでも、どこでも、だれでも、なんどでも、たのしく」学べる生涯学習の充実に向け、学習機会の充実や市民や団体による活動を支援し、その担い手となる人材の育成に努めるとともに、拠点機能の充実を図ります。						
事業実績	<p>○子どもの居場所づくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の分館公民館等を利用し、「子どもの居場所づくり」事業を実施している区・自治会に対して活動支援を行った。 <p>○生涯学習推進と情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生涯学習だより」を年6回発行し、全戸配布した。 ・人材バンク登録者の派遣を行った。 <p>○京たなべ・同志社ヒューマンカレッジの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同志社大学と連携した公開講座「京たなべ・同志社ヒューマンカレッジ」を開催した。 <p>※子どもの居場所づくり事業において実績値が目標値を下回っているのは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業実施を見合わせたもの。</p>						
予算費目	会計	款	項	目	大事業		
	一般会計	教育費	社会教育費	社会教育総務費	生涯学習推進・支援事業費		
事業費	決算額（千円）		決算額内訳（千円）				
	3,873		国庫支出金	府支出金	地方債	受益者負担	その他
						101	3,772
事業の成果							
指標	単位	目標	実績	達成率	指標設定の考え方		
ヒューマンカレッジ開催回数	回	5	5	100.0%	時事的な内容を含めた講演を必要回数実施する。		
子どもの居場所づくり開設自治会数	箇所	15	9	60.0%	過去の実績（R1：15件）に照らし、同水準である15箇所の実施を目指す。		
1次評価	達成度	選択理由					
	B 概ね目標を達成している（達成率80%以上）	子どもの居場所づくり事業については、自治会に働きかけたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見合わせる自治会が多かったが、ヒューマンカレッジについては、同志社大学と調整し、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、前年度より開催回数を増加させることができた。					
2次評価	事業の方向性	選択理由					
	B. 維持	子どもの居場所づくり事業、人材バンクの派遣事業、ヒューマンカレッジ等を継続して実施することで生涯学習社会の実現を目指す。					

事務事業名	中央公民館の講座等開設事業			No	18	
				所管部課	社会教育課	
事業概要	市民ニーズに即した講座や教室の開設及びサークル活動の活性化の担い手となる人材育成のための講座を開設					
総合計画体系	章	節	分野	施策	重点プロジェクト	
	4 【文化・教育】		4 社会教育	2 生涯学習の機会の充実・活動支援・人材育成		
総合計画・基本構想・基本方向	市民が学びやスポーツに参加する機会を充実するなど、だれもが生きがいをもって学び続けるまちを目指します。					
まちづくりプラン・基本方針	・市民が「いつでも、どこでも、だれでも、なんどでも、たのしく」学べる生涯学習の充実に向け、学習機会の充実や市民や団体による活動を支援し、その担い手となる人材の育成に努めるとともに、拠点機能の充実を図ります。					
事業実績	<p>○市民ニーズに対応した講座や事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央公民館において、各種講座・教室を開催し、延べ1,434人が参加した。(17講座143回) ※日本語教室、いきいきチャレンジ教室を含む。 住民センターにおいて、各種講座・教室を開催した。 北部：延べ833人参加(13講座80回) 中部：延べ490人参加(14講座55回) 					
予算費目	会計	款	項	目	大事業	
	一般会計	教育費	社会教育費	公民館費	講座開設費	
事業費	決算額(千円)		決算額内訳(千円)			
	2,908		国庫支出金	府支出金	地方債	受益者負担 160 その他 一般財源 2,748
事業の成果						
指標	単位	目標	実績	達成率	指標設定の考え方	
講座開催回数	回	141	143	101.4%	全ての講座・教室の延べ開催数を目標値として設定。	
1次評価	達成度	選択理由				
	A 目標を達成している(達成率100%以上)	第3次京田辺市生涯学習推進基本計画に基づき、市民ニーズに即した講座や教室を企画し、生涯学習だよりや社会教育施設でのポスター掲示など様々な手法により広報することで、多くの方が参加し、市民の生涯学習を支援することができた。				
2次評価	事業の方向性	選択理由				
	B. 維持	生涯学習の機会を設けるとともに市民や団体の活動を支援するため、市民ニーズの把握に努め、近年の社会状況の変化を踏まえたテーマに沿い、新規講座や中央市民大学など各種講座を開催する。				

事務事業名	社会教育関係団体等支援事業			No	19		
				所管部課	社会教育課		
事業概要	地域活動の活性化を図る上で重要な役割を果たしている社会教育関係団体について、団体の自主性を尊重しつつ、主体的な活動ができるよう育成と支援を実施						
総合計画体系	章	節	分野	施策	重点プロジェクト		
	4	/	4	2			
【文化・教育】	社会教育		生涯学習の機会の充実・活動支援・人材育成				
総合計画・基本構想・基本方向	市民が学びやスポーツに参加する機会を充実するなど、だれもが生きがいをもって学び続けるまちを目指します。						
まちづくりプラン・基本方針	・市民が「いつでも、どこでも、だれでも、なんどでも、たのしく」学べる生涯学習の充実に向け、学習機会の充実や市民や団体による活動を支援し、その担い手となる人材の育成に努めるとともに、拠点機能の充実を図ります。						
事業実績	○社会教育関係団体の育成と支援 ・社会教育関係団体の学習活動や地域活動に対して補助金を交付し、生涯学習の促進を図るとともに、各団体が主体的に活動できるよう指導や援助を行った。						
予算費目	会計	款	項	目	大事業		
	一般会計	教育費	社会教育費	社会教育総務費	社会教育関係団体等支援事業費		
事業費	決算額（千円）		決算額内訳（千円）				
	1,717		国庫支出金	府支出金	地方債	受益者負担	その他
1,717							
事業の成果							
指標	単位	目標	実績	達成率	指標設定の考え方		
補助金交付団体数	団体	8	8	100%	年間8団体の補助を目指す。		
1次評価	達成度	選択理由					
	A 目標を達成している（達成率100%以上）	制度の周知等に努め、申請のあったすべての団体に補助金を交付することができた。					
2次評価	事業の方向性	選択理由					
	B. 維持	地域活動の活性化を図る上で重要な役割を果たしている社会教育関係団体について、活動費の支援や施設使用料の減免などの補助を行う。					

事務事業名	図書館管理運営事業			No	20		
				所管部課	社会教育課		
事業概要	中央図書館、分室及び移動図書館の運営を行い、図書館資料を収集、整理、保存して市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーションなどに資する事業を実施						
総合計画体系	章	節	分野	施策	重点プロジェクト		
	4 【文化・教育】		4 社会教育	2 生涯学習の機会の充実・活動支援・人材育成			
総合計画・基本構想・基本方向	市民が学びやスポーツに参加する機会を充実するなど、だれもが生きがいをもって学び続けるまちを目指します。						
まちづくりプラン・基本方針	・市民が「いつでも、どこでも、だれでも、なんどでも、たのしく」学べる生涯学習の充実に向け、学習機会の充実や市民や団体による活動を支援し、その担い手となる人材の育成に努めるとともに、拠点機能の充実を図ります。						
事業実績	<p>○施設設備、備品等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 空調設備の劣化箇所を計画的に更新するとともに、コンピューター室等照明のLED化を行った。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止として、図書除菌機とサーマルカメラを購入した。 <p>○図書館活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書の充実に努め、図書11,906冊、視聴覚234点を購入。蔵書数は369,764冊（図書357,784冊、視聴覚11,980点）となった。 年間貸出数延べ803,587冊、貸出者延べ140,180人。 移動図書館は22箇所と洛南寮、留守家庭児童会10箇所を巡回。 資料宅配101回、郵送貸出221冊を行い、点字図書27タイトルを受入れ、733冊を貸出した。 講座を開催。（文学講座3回39人、絵本読み聞かせ入門講座5回47人、映画会24回281人参加） テーマ展示（平和図書館等計2回）を開催した。また、福袋を作成・貸出（2回）を行い、資料の有効活用を図った。 市民を対象にした本のリサイクルコーナーの常設と共に、教育関係施設への提供を行い、資料の再利用を図った。 南部まちづくりセンターに返却スポット、予約資料の受け取り、無印良品松井山手店舗内にブックポストを設置し、利用者の利便性を図った。 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、子どもフェスティバル、おはなし会は中止したが、子どもを対象にした映画会（1回）を行った。 						
予算費目	3	款	項	目	大事業		
	一般会計	教育費	社会教育費	図書館費	図書館活動費		
事業費	決算額（千円）		決算額内訳（千円）				
	60,512		国庫支出金	府支出金	地方債	受益者負担	その他
					76		60,436
事業の成果							
指標	単位	目標	実績	達成率	指標設定の考え方		
図書購入冊数	冊	12,000	12,140	101.2%	購入費予算18,885千円 平均単価1,570円として12,000冊（点）購入（視聴覚含む）		
移動図書館（かんなび号）の運営	箇所	30	33	110.0%	30箇所以上を維持する。		
講座の開催回数	回	39	37	94.9%	各種教養講座（8回）映画会（24回）子ども映画会（2回）書庫公開DAY（4回）を開催		
1次評価	達成度	選択理由					
	A. 目標を達成している（達成率100%以上）	新型コロナウイルス感染症拡大防止により子ども向けの行事を中止したが、子育て支援の観点から他部署と連携し、絵本の選び方等の講習会で講師を務めた。定期的実施することにより家庭での読書支援を行った。また、返却スポット等の増設により北部、南部地域の利用者の利便性を図った。					
2次評価	事業の方向性	選択理由					
	A. 拡充	子どもに係わる施設等との連携を深めつつ、読書の基盤である家庭での読書環境の充実を支援する。また返却スポット等、図書館のPRをを行い、新たな利用者の拡大を目指すと共に、更なる市民サービスの向上を図る。					

事務事業名	分館公民館維持管理事業			No	21		
				所管部課	社会教育課		
事業概要	分館公民館の新築、改築、増築、改造、敷地の造成工事及び外溝工事を行う場合、市の負担基準に基づき負担金を交付。市民にとって安全・快適な環境づくり及び地域活動拠点を充実						
総合計画体系	章	節	分野	施策	重点プロジェクト		
	4	/	4	3			
[文化・教育]			社会教育	生涯学習拠点機能の充実			
総合計画・基本構想・基本方向	市民が学びやスポーツに参加する機会を充実するなど、だれもが生きがいをもって学び続けるまちを目指します。(再掲6-1-4 市民、事業者、大学、区・自治会、NPO、各種団体等と行政が市民生活やまちづくりに関わる情報を共有し、連携を深めることで、それぞれの役割と責任を果たしながら、参画と協働によるまちづくりを進めます。「まちづくりは人づくり」を基本に、だれもが郷土愛をもって、まちづくりの主体的な担い手となり、人と人のつながりを育みながら、お互いに支え合うまちを目指します。)						
まちづくりプラン・基本方針	・市民が「いつでも、どこでも、だれでも、なんどでも、たのしく」学べる生涯学習の充実に向け、学習機会の充実や市民や団体による活動を支援し、その担い手となる人材の育成に努めるとともに、拠点機能の充実を図ります。(・市民活動団体やコミュニティ組織などが持続して発展するための活動拠点の充実を進めます。)						
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ○分館公民館の新築や補修等に伴う負担金 ・花住坂公民館(外装改修・エアコン更新及び屋根改修) ・田辺公民館(照明LED化工事) ・東田辺公民館(床シート張替・LED化及び水道栓設置工事) ・山手西公民館(外装・集会室改修) ・同志社山手北公民館(エアコンタイマー及び建具修繕工事) ・新公民館(消防設備不備改修) ・草内公民館(管理人室及び消防設備改修) ・飯岡公民館(外壁・内壁改修) ・松井ヶ丘公民館(空調機工事) ・江津公民館(雨漏りによる室内補修工事) ・打田公民館(誘導灯設備改修工事) ※ただし、花住坂・同志社山手北・草内公民館は、工事を2回実施。東田辺公民館は工事を3回実施。						
予算費目	会計	款	項	目	大事業		
	一般会計	教育費	社会教育費	公民館費	地区公民館整備費		
事業費	決算額(千円)		決算額内訳(千円)				
	8,860		国庫支出金	府支出金	地方債	受益者負担	その他
8,860							
事業の成果							
指標	単位	目標	実績	達成率	指標設定の考え方		
負担金の支給件数	件	9	16	177.8%	過去5年の平均より算出		
1次評価	達成度	選択理由					
	A. 目標を達成している(達成率100%以上)	分館公民館の維持管理を行っている区・自治会に対して、市負担金について年度当初の会議で案内し、相談のあった改修等については丁寧に説明・対応することにより必要な維持管理について支援することができた。					
2次評価	事業の方向性	選択理由					
	B. 維持	地域の拠点として、安全に利用できるよう維持管理や修繕に係る支援を適切に行っていく。					

事務事業名	中学校運営事業			No	22			
				所管部課	学校教育課			
事業概要	学校教育の充実を図るため、適正な人員配置、教材整備など、中学校の管理運営を行うもの							
総合計画体系	章	節	分野	施策	重点プロジェクト			
	4 【文化・教育】		2 就学前～小・中学校教育	3 知・徳・体の調和と個性を伸ばす小・中学校教育の推進				
総合計画・基本構想・基本方向	確かな学力と豊かな人間性、たくましく健やかな体を育むなど、質の高い教育により一人一人が輝く京田辺っ子が育つまちを目指します。							
まちづくりプラン・基本方針	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな人間性をもち、多様なライフステージで活躍できる京田辺っ子を育むため、知・徳・体の調和と、個性を伸ばしながら学力を高める教育を基本として、社会の変化に柔軟に対応できる力を育む教育を推進します。 不登校やいじめ問題を解決するための支援体制を充実するとともに、地域と学校の連携による通学路の安全対策などを推進します。 子どもを取り巻く環境や人口動向などを踏まえた教育体制の充実や学校施設の長寿命化を進めるとともに、中学校給食について、早期実現を目指します。 							
事業実績	<p>○市立中学校の管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校へ予算配分を行い、各中学校で管理運営に要した予算の効率的な執行を実施した。 学校生活を送る上で特に配慮を要する生徒に対して、特別支援教育支援員を配置した。 							
予算費目	会計	款	項	目	大事業			
	一般会計	教育費	中学校費	学校管理費				
事業費	決算額（千円）		決算額内訳（千円）					
	88,096		国庫支出金	府支出金	地方債	受益者負担	その他	一般財源
事業の成果								
指標	単位	目標	実績	達成率	指標設定の考え方			
学校配分予算の執行率	%	95	87	91.6%	各中学校に配分した予算の執行率			
1次評価	達成度	選択理由						
	B. 概ね目標を達成している（達成率80%以上）	執行率は目標に達していないものの、各校に予算を配分し、必要な図書整備、軽微な修繕等を適宜実施することができた。						
2次評価	事業の方向性	選択理由						
	A. 拡充	安定的な学校運営のため、今後も学校の実情に応じて予算を配分し、執行率の向上に留意しつつ適切な執行管理を行う。						

事務事業名	中学校健康管理事業				No	23		
					所管部課	学校教育課		
事業概要	生徒の健康を保持するため、内科、歯科、眼科、耳鼻科、心臓健診などの健診を実施							
総合計画体系	章	節	分野	施策	重点プロジェクト			
	4		2	3				
	[文化・教育]		就学前～小・中学校教育	知・徳・体の調和と個性を伸ばす小・中学校教育の推進				
総合計画・基本構想・基本方向	確かな学力と豊かな人間性、たくましく健やかな体を育むなど、質の高い教育により一人一人が輝く京田辺っ子が育つまちを目指します。							
まちづくりプラン・基本方針	・豊かな人間性を持ち、多様なライフステージで活躍できる京田辺っ子を育むため、知・徳・体の調和と、個性を伸ばしながら学力を高める教育を基本として、社会の変化に柔軟に対応できる力を育む教育を推進します。							
事業実績	<p>○生徒の内科、歯科、眼科及び耳鼻科検診実施し、健康管理を行った。 中学生 検診延べ実施数 7,519回 受診率 96.8%</p> <p>○生徒の心臓検診を実施し、健康管理を行った。</p>							
予算費目	会計	款	項	目	大事業			
	一般会計	教育費	中学校費	学校管理費	中学校健康管理費			
事業費	決算額（千円）			決算額内訳（千円）				
	11,579			国庫支出金	府支出金	地方債	受益者負担	その他
11,579								
事業の成果								
指標	単位	目標	実績	達成率	指標設定の考え方			
中学校・健康診断受診率	%	100	96.8	96.8%	法律に照らし実施される健康診断であるため全生徒の受診を目標とする。			
1次評価	達成度	選択理由						
	B. 概ね目標を達成している（達成率80%以上）	健康診断について、学校での受診勧奨に努めるとともに、当日の欠席生徒が他の中学校で受診できるよう複数の健診日程を調整した。						
2次評価	事業の方向性	選択理由						
	B. 維持	引き続き、生徒の健康管理及び適切な保健指導を行う。						

事務事業名	中学校就学支援事業				No	24
					所管部課	学校教育課
事業概要	経済的理由により就学困難と認められる生徒の保護者に就学援助事業（学用品費、修学旅行費、学校給食費、医療費などの支給）を実施					
総合計画体系	章	節	分野	施策	重点プロジェクト	
	4		2	5		
	【文化・教育】		就学前～小・中学校教育	教育支援の充実と地域と学校の連携推進		
総合計画・基本構想・基本方向	確かな学力と豊かな人間性、たくましく健やかな体を育むなど、質の高い教育により一人一人が輝く京田辺っ子が育つまちを目指します。					
まちづくりプラン・基本方針	・豊かな人間性をもち、多様なライフステージで活躍できる京田辺っ子を育むため、知・徳・体の調和と、個性を伸ばしながら学力を高める教育を基本として、社会の変化に柔軟に対応できる力を育む教育を推進します。					
事業実績	<p>○就学援助（要保護生徒数 18人・準要保護生徒数 323人）</p> <p>・就学困難な生徒に対して、学用品費、修学旅行費、学校給食費、医療費等の支給によって就学を援助し、生徒の学習意欲の向上及び保護者の負担軽減を図った。新入学学用品費については前倒し支給を行い、3月初旬での支給を実施した。</p>					
予算費目	会計	款	項	目	大事業	
	一般会計	教育費	中学校費	教育振興費	要準要保護生徒援助費	
事業費	決算額（千円）		決算額内訳（千円）			
	24,677	205	国庫支出金	府支出金	地方債	受益者負担 その他 一般財源
						24,472
事業の成果						
指標	単位	目標	実績	達成率	指標設定の考え方	
適正な就学援助費対象者への支給率	%	100	100	100.0%	対象者への支給率100%を目指す。	
1次評価	達成度	選択理由				
	A. 目標を達成している（達成率100%以上）	学校を通じて制度を周知するとともに、申請に基づいて経済的理由により就学困難な生徒の保護者に対し遅滞なく就学援助を行い、負担軽減と教育の機会均等に寄与した。				
2次評価	事業の方向性	選択理由				
	B. 維持	引き続き、制度の周知を図り就学援助を行う。				

事務事業名	就学前教育・保育充実事業			No	25		
				所管部課	輝くこども未来室		
事業概要	就学前の子どもに小学校へ直接繋がる質の高い就学前教育・保育を提供するため、幼小接続カリキュラムなど市独自のカリキュラムの展開と充実を図るとともに、就学前教育・保育施設の教員、保育士などを対象とした合同研修会を開催						
総合計画体系	章	節	分野	施策	重点プロジェクト		
	4	/	2	1			
[文化・教育]			就学前～小・中学校教育	子どもの健やかな成長を育む質の高い就学前教育・保育の推進			
総合計画・基本構想・基本方向	確かな学力と豊かな人間性、たくましく健やかな体を育むなど、質の高い教育により一人一人が輝く京田辺っ子が育つまちを目指します。						
まちづくりプラン・基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の豊かな情操や個性を伸ばし、社会性を育むとともに、小学校へ直接繋がる質の高い就学前教育・保育を提供します。 ・地域の拠点となる市立幼保連携型認定こども園や民間保育園などの整備を進めるとともに、幼稚園・保育所施設の老朽化対策を幼保連携型認定こども園の整備などに併せて計画的に実施します。 ・豊かな人間性をもち、多様なライフステージで活躍できる京田辺っ子を育むため、知・徳・体の調和と、個性を伸ばしながら学力を高める教育を基本として、社会の変化に柔軟に対応できる力を育む教育を推進します。 						
事業実績	<p>○大住こども園プロジェクト会議 令和5年4月の大住こども園の開園に向け、教育・保育カリキュラム等を検討するプロジェクト会議を定期的で開催し、カリキュラムを策定した。</p> <p>○幼保合同研修会の開催 同志社女子大学の協力のもと、市内全ての幼児教育・保育施設の保育士等を対象とした幼保合同研修会を開催した。 第1回：6月9日 受研者15名 第2回：6月23日 受研者20名 第3回：9月16日 受研者37名 第4回：11月8日 受研者47名 第5回：11月10日 受研者23名</p>						
予算費目	会計	款	項	目	大事業		
	一般会計	総務費	総務管理費	企画費	こども未来推進費		
事業費	決算額（千円）		決算額内訳（千円）				
	66		国庫支出金	府支出金	地方債	受益者負担	その他
							66
事業の成果							
指標	単位	目標	実績	達成率	指標設定の考え方		
合同研修会受研者の満足度	%	100	100	100.0%	受研者の満足度100%を目指す。		
合同研修会参加施設数	園	20	16	80.0%	市内にある全就学前・教育保育施設（認可外を含む）の参加を目指す。		
1次評価	達成度	選択理由					
	B. 概ね目標を達成している（達成率80%以上）	新型コロナウイルス感染症予防により全園参加とはならなかったが、職員のシフトを調整することにより参加につなげるなど、概ね実施することができた。					
2次評価	事業の方向性	選択理由					
	B. 維持	引き続き事業を実施し、市内各施設における教育・保育の一層の充実を図る。					

事務事業名	市立幼稚園運営事業			No	26			
				所管部課	輝くこども未来室			
事業概要	市立幼稚園における幼児教育の充実、園児が安全、快適に過ごせる環境の確保を目指すとともに、預かり保育事業や保護者ニーズに対応した幼稚園サービスの向上、小学校との連携強化を推進							
総合計画体系	章	節	分野	施策	重点プロジェクト			
	4	/	2	1				
【文化・教育】			就学前～小・中学校教育	子どもの健やかな成長を育む質の高い就学前教育・保育の推進				
総合計画・基本構想・基本方向	確かな学力と豊かな人間性、たくましく健やかな体を育むなど、質の高い教育により一人一人が輝く京田辺っ子が育つまちを目指します。							
まちづくりプラン・基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の豊かな情操や個性を伸ばし、社会性を育むとともに、小学校へ直接繋がる質の高い就学前教育・保育を提供します。 ・地域の拠点となる市立幼保連携型認定こども園や民間保育園などの整備を進めるとともに、幼稚園・保育所施設の老朽化対策を幼保連携型認定こども園の整備などに併せて計画的に実施します。 ・豊かな人間性をもち、多様なライフステージで活躍できる京田辺っ子を育むため、知・徳・体の調和と、個性を伸ばしながら学力を高める教育を基本として、社会の変化に柔軟に対応できる力を育む教育を推進します。 							
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ○市立幼稚園教育（8園） ・在園児434人（令和4年5月現在）に幼稚園教育を提供した。 ○預かり保育の実施 ・市立幼稚園全園で預かり保育を実施し、保護者の負担軽減を行った。 							
予算費目	会計	款	項	目	大事業			
	一般会計	教育費	幼稚園費	幼稚園管理費	幼稚園管理運営費			
事業費	決算額（千円）		決算額内訳（千円）					
			国庫支出金	府支出金	地方債	受益者負担	その他	一般財源
	44,658		3,935	4,533	2,487			33,703
事業の成果								
指標	単位	目標	実績	達成率	指標設定の考え方			
預かり保育利用者数	人	31,000	22,936	74.0%	R1年度実績と同水準を維持する			
1次評価	達成度	選択理由						
	C 目標を達成していない（達成率80%未満）	在園児数が年々減少していること及び新型コロナウイルス感染予防により利用者が減少したことが原因と考えるが、そのような状況下でも各施設は利用する園児が密な状態にならないよう一定の距離をとって保育を行ったり、職員も園児との距離感を模索・工夫しながら、日々可能な限りの感染対策を講じ、事業を実施することができた。						
2次評価	事業の方向性	選択理由						
	B. 維持	引き続き事業を実施する。なお、保護者アンケートを行い、ニーズ把握に努めていく。						

事務事業名	幼稚園健康管理事業				No	27			
					所管部課	輝くこども未来室			
事業概要	幼児の健康を保持するため、内科、歯科、眼科、耳鼻科健診などの健診を実施								
総合計画体系	章	節	分野	施策	重点プロジェクト				
	4		2	1					
	【文化・教育】		就学前～小・中学校教育	子どもの健やかな成長を育む質の高い就学前教育・保育の推進					
総合計画・基本構想・基本方向	確かな学力と豊かな人間性、たくましく健やかな体を育むなど、質の高い教育により一人一人が輝く京田辺っ子が育つまちを目指します。								
まちづくりプラン・基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の豊かな情操や個性を伸ばし、社会性を育むとともに、小学校へ直接繋がる質の高い就学前教育・保育を提供します。 ・豊かな人間性をもち、多様なライフステージで活躍できる京田辺っ子を育むため、知・徳・体の調和と、個性を伸ばしながら学力を高める教育を基本として、社会の変化に柔軟に対応できる力を育む教育を推進します。 								
事業実績	○園児の健康管理 ・園医等による内科、歯科、眼科（視力検査含）、耳鼻科検診等により園児の健康管理を行った。								
予算費目	会計	款	項	目	大事業				
	一般会計	教育費	幼稚園費	幼稚園管理費	幼稚園管理運営費				
事業費	決算額（千円）			決算額内訳（千円）					
				国庫支出金	府支出金	地方債	受益者負担	その他	一般財源
	6,740								6,740
事業の成果									
指標	単位	目標	実績	達成率	指標設定の考え方				
健康診断受診率	%	100	100	100.0%	全園児の受診を目標とする。				
1次評価	達成度	選択理由							
	A. 目標を達成している（達成率100%以上）	全園児の受診を達成した。							
2次評価	事業所の方向性	選択理由							
	B. 維持	引き続き事業を実施し、園児の健康管理に努めていく。							

事務事業名	認定こども園整備事業				No	28			
					所管部課	輝くこども未来室			
事業概要	市北部地域の市立大住幼稚園を、建て替えに併せて地域の拠点となる市立幼保連携型認定こども園として整備するほか、市中部地域における市立幼保連携型認定こども園の整備を検討								
総合計画体系	章	節	分野	施策	重点プロジェクト				
	4	/	2	2	0				
	【文化・教育】		就学前～小・中学校教育	就学前教育・保育施設の整備	I-1				
総合計画・基本構想・基本方向	確かな学力と豊かな人間性、たくましく健やかな体を育むなど、質の高い教育により一人一人が輝く京田辺っ子が育つまちを目指します。								
まちづくりプラン・基本方針	・地域の拠点となる市立幼保連携型認定こども園や民間保育園などの整備を進めるとともに、幼稚園・保育所施設の老朽化対策を幼保連携型認定こども園の整備などに併せて計画的に実施します。								
事業実績	○整備工事の完了 ・北部地域の拠点となる市立幼保連携型認定こども園の整備を行った。								
予算費目	会計	款	項	目	大事業				
	一般会計	教育費	幼稚園費	こども園建設費	こども園整備事業費				
事業費	決算額（千円）			決算額内訳（千円）					
	1,288,037			国庫支出金	府支出金	地方債	受益者負担	その他	一般財源
				94,537		934,300			
事業の成果									
指標	単位	目標	実績	達成率	指標設定の考え方				
事業進捗率	%	100	100	100.0%	R5年4月の開園を目標として整備工事の完了を目指す。				
1次評価	達成度	選択理由							
	A. 目標を達成している（達成率100%以上）	当初の計画どおり、令和5年2月に完成し、4月に開園を迎えることができた。							
2次評価	事業の方向性	選択理由							
	F. 完了	事業完了のため。							

令和5年度京田辺市教育委員会事務の管理及び執行の状況 の点検及び評価について

令和5年度に実施された、令和4年度京田辺市教育委員会教育事務の点検・評価について、「京田辺市の教育令和5年版」に掲載される予定の各対象事業の点検・評価結果及び関連資料を調査した結果、その執行及び点検・評価の取組が概ね適切になされているものと判断する。

(全般的な意見)

京田辺市においては、これまでの教育実践の蓄積を継承しつつ、令和2年(2020)に策定された「第4次京田辺市総合計画まちづくりプラン」を基に「子育てしやすく未来を育む文化薫るまち」を目指して施策が展開されており、「第2期京田辺市子ども・子育て支援事業計画」等の各種計画に基づきながら総合的・計画的に子育て環境の充実が図られています。

近年、グローバル化や情報化の進展によって私たちの生活が大きく変化しつつあり、今年登場した生成AIはこれからの世の中を激変させると言われています。我が国の経済状況や少子化問題などについても厳しい見方がされており、その対応が求められるとともに、これからの教育の在り方が問われています。パンデミックといわれた状況からはようやく抜け出しましたが、コロナ禍が市民生活や子どもたちの生活にもたらした影響については、今後も注意深く見ていく必要があるでしょう。

次代を担う子どもたちには、これからの予測困難な社会の変化に向き合い、多様な人々と協働して課題を解決する力が求められます。令和3年1月には中央教育審議会の答申『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」が出され、これからの学校教育の方向性が示されました。そこには、GIGAスクール構想による教育のデジタル化、多様な子どもたちに個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させるための教育課程の工夫改善、「学校の働き方改革」や中学校部活動の地域移行など、喫緊の課題が並んでいます。

また、「いじめ防止対策推進法」の施行から10年が経過しますが、令和4年度の全国の小中高特別支援学校におけるいじめの認知件数は、前年度より10.8%増えて68万件を超え過去最多となりました。同年度の小中学校不登校児童生徒についても、約29.9万人となり増加が続いています。さらに加えて深刻さを増しているのが、学校現場における教員不足の問題です。こうした課題の解決に向けて、学校・園を支える教育委員会の果たすべき役割が一層増していると言えるでしょう。

このような背景のもとに令和4年度に実施された教育委員会所管の事務事業について、冒頭のとおり事務事業の執行・評価の取組が概ね適切になされていると判断したうえで、以下の点について付記することとします。

(1) 学校教育の更なる充実

各学校・園では、新学習指導要領等の趣旨を生かして社会に開かれた特色ある教育課程を編成し、感染防止対策を講じながら地域社会と連携して教育活動が進められて

います。一方で、子どもたちの個性を引き出すための個別最適な学びを実現する授業づくりや増加傾向にある不登校児童生徒への対応など、学校現場の課題はますます増えてきています。学校における働き方改革についても、さらに推し進める必要があることから、教員の確保や人的資源を活用する施策が引き続き強く求められます。同時に、学校現場では若い教員の割合が高くなっており、若手教員への支援や授業力の向上が重要になっています。子どもたちの学力などに直結することから、各学校・園での取組を後押しする施策が求められます。これらの施策を有機的に結びつけて推進する総合的なプランも必要でしょう。また、毎年示される京都府の「学校教育指導の重点」との関連で検証を加えることも、本市教育の一層の充実に繋がると考えます。

本市では、当該年度においても施設設備の保守や環境整備などの諸事業が着実に進められ、子どもたち一人一人が安心して学校に通い、充実した教育を受けることができるようにするための、経済的・社会的・教育的支援がきめ細かく実施されています。

令和3年4月に市教育委員会の諮問機関として「京田辺市学校教育審議会」が設置され、市内の児童生徒数の偏在解消に向けた対策をはじめ、直面する諸課題を解決するための提言が検討されています。会議資料についても市のホームページで公開されており、開かれた議論がなされています。審議会の提言に期待するとともに、専門家や市民の声を反映した提言が十分に施策に反映されることを望みます。

(2) 重点となる施策の推進

令和4年度重点的に取り組まれた事業として、次の事業に着目しました。

◇情報教育推進事業

国のGIGAスクール構想の下、「京田辺市学校ICT整備計画」に基づいて事業が展開されています。令和2年度より、児童・生徒一人一台のタブレット端末が整備され、安全利用に欠かせないOSのアップグレードや年度更新作業も適切に行われています。教職員のセキュリティ・モラルの知識理解や指導力については、ますます重要となっており、教職員への情報教育研修が毎年悉皆で行われていることはたいへん評価できます。また、今秋市立田辺東小学校で開催された、京都府小学校教育研究大会ではICTを効果的に活用した理科学習の様子や、タブレット端末を使いこなす児童の様子がみられ、学習になくてはならないツールとなっていました。情報社会を生きる子どもたちに確かな情報活用能力を育み個別最適な学びと協働的な学びを促進させていくために、全ての教員が授業において効果的にICTを活用していくことが求められています。前述の研修に加え、市内での実践交流など、情報教育研修がさらに充実されることを期待します。また、タブレット端末の更新などICT環境を維持していくために、国の動向に注視しつつ長期的な整備計画の作成や見直しが必要となります。

◇適応指導教室充実事業

文部科学省の調査結果によると、令和4年度の小中学校不登校児童生徒は約29.9万人で、前年度より約5.4万人、一昨年度からは10万人以上も増加しています。10月には「だれ一人取り残されない学びの保証に向けた不登校対策(COCOLOプラン)

文部科学省」の前倒しを求める緊急対策等の通知が出されるなど、不登校児童生徒への対応は大きな問題となっています。このプランでは、不登校の児童生徒一人一人のニーズに応じた多様な学びの場の確保を求めており、その中核となる「適応指導教室充実事業」の役割はとて大きなものとなっています。京田辺市適応指導教室（ポットトラック）は、心の居場所として安心して過ごせる場所の提供という従来の役割に加え、令和4年度からは学習支援教室として適応指導教室別室を開室し、延べ101人が利用しています。ニーズに応じた学びの場を提供するという、たいへん良い取り組みであると評価します。各学校との連携と利用しやすい環境の整備により、一人でも多くの子どもたちが学びにアクセスできることを期待します。

また、教育支援センターの開設が事業の方向性に掲げられています。不登校児童生徒の増加は今後も続くと予想されることから、開設される教育支援センターには、保護者の相談や支援、オンラインでの学習サポート、NPO やフリースクール等への情報提供や連携、アウトリーチ型の支援など一人一人のニーズに応じた支援が提供されること期待します。

◇中学校給食施設整備事業

「京田辺市中学校給食基本計画」に基づき、令和4年度には学校給食センター及び中学校配膳室等に係る実施計画が策定され、学校給食センター新築工事等が着工されるなど、令和6年4月からの中学校給食の開始に向け、事業スケジュール通りに計画が進んでいることを確認しました。京田辺市総合計画にある「ゆとりを持った給食時間の設定」や「京田辺らしい食育の実現」に向け、学校現場との調整や教職員の給食指導など食育への意識の向上が必要となってきます。生徒や保護者にとっても、学校にとっても、給食の開始が計画以上に喜ばれるものとなるよう、開始までの準備が十分に行われることを期待します。

◇青少年健全育成事業

「令和5年度社会教育の重点」では「地域学校協働活動等により、青少年に豊かな体験活動や異年齢・世代間交流の場を提供し、地域での絆づくりの充実を図る」とされていますが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業の見合わせが多かったようです。新型コロナウイルス感染症により、様々な地域での活動が制限されたため、地域のつながりまでもが弱まっていると思われます。アフターコロナに向かう中、同じ活動を再開するのではなく、例えば一番の主体者となるべき子どもたちの意見を聞くなど、関係者と共にその意義を再確認し、新たな活動が生まれることを期待します。

◇図書館管理運営事業

図書購入冊数、移動図書館の運営回数は計画を上回っています。何より貸出冊数が前年度から約5万冊増加するなど、「京田辺市の教育令和5年版」に掲げられている多くの指標が前年度より向上していることから、良好な運営がされていると判断できます。今後も市民にとって利用しやすい魅力的な図書館であることを期待します。急激

なデジタル化に伴う読書離れが懸念される状況下にあります。やはり子どもの頃より本に親しむ習慣や態度の育成は、人生を豊かに生きていく上で欠かせません。事業の方向性では、「読書の基盤である家庭での読書環境の充実を支援する」と掲げられています。幼稚園・保育所・こども園・学校と共に具体的な取組が進められることを合わせて期待します。

◇中学校運営事業

指標として設定されている学校配分予算の執行率が87%にとどまっていることについて、執行状況の確認を早期に行ったり、配分予算に流動性を持たせたりするなど、何らかの方策を講じることが必要と思われます。予算が適切に執行され、学校の教育環境が充実することを期待します。

◇就学前教育・保育充実事業

認定こども園整備事業が完了し、令和5年4月に「大住こども園」が開園されました。新しい園舎で充実した保育・教育が展開されることを楽しみにしています。国では、5歳児から小学校1年生の2年間を「架け橋期」と称して焦点を当て、0歳から18歳までの学びの連続性に配慮しつつ、「架け橋期」の教育の充実を図り、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくることを求めています。開設される大住こども園では開園に向けカリキュラムを検討し作成されました。市内各園に展開するだけでなく、小学校も協働し幼小接続カリキュラムの充実を図り、「架け橋期」の教育を充実していくことがますます必要となると考えられます。

(3) 生涯学習の更なる充実

令和4年度についても、市民が生涯にわたって文化教養、健康と体力を高める機会を提供する事業が計画的に実施されています。中には「青少年健全育成事業」や「生涯学習推進・支援事業」など、コロナ禍の影響もあって会場や委員の人材確保が難しかったことから、達成率が目標を大きく下回る事業が幾つかありました。それでも、感染防止対策を十分に行いながら、28事業における45の指標の中で30指標について目標の100%以上を達成しており、関係者のご苦勞と熱意に敬服します。

令和4年3月には、近年の社会状況の変化を踏まえた「第3次京田辺市生涯学習推進基本計画」が策定され、本市の生涯学習社会の実現に向けたビジョンが示されました。本計画では、社会教育や文化教育等による学習と各自が主体的に取り組む姿勢が重視されています。学習によるつながりと成果を地域に還元することで、学びと活動の好循環を生み出すことを目指すものです。その鍵となるのが、団体や市民をつなぐ役割を果たす人材の育成です。そうした人材育成に力点を置いた取組に期待します。

「分館公民館維持管理事業」については達成率が177.8%と、施設改修などの環境設備が進められています。コロナ禍で減っていた市民の交流機会を回復させるとともに、ICTなどを活用して新たな交流のネットワークを構築し、学びと交流の場を多様なかたちで充実させていくことが必要でしょう。令和4年4月の第11期中央教育審議会生涯学習分科会においても、「生涯学習・社会教育には、従来の役割のみならず、

ウェルビーイングや社会包摂の実現、デジタル社会への対応、地域コミュニティの基盤作りといった役割も求められてきています」として、生涯学習・社会教育の今後の振興策が議論されています。

本市は、地域の誇る豊かな文化財や同志社大学等の学術・研究機関、文化芸術等の特色ある活動を行う団体や人材に恵まれています。また、これまで多くの市民の努力により蓄積されてきた文化や伝統、諸事業の財産があります。このような人的資本や文化資本をつなげて活かすことで、第3次基本計画の基本理念である「学びを広げ 未来を拓くまち 京田辺」の実現に近づくものと期待します。

(4) 教育事務の点検・評価について

今回の全28対象事業の個票は、それぞれ市民目線を意識した構成、内容、表現で作成されており、事業の実績及び成果についても、具体的な数字を示して達成の状況がわかるように工夫されています。コロナ禍の影響により、一部には目標を達成できなかった事業もありますが、達成に向けて尽力されたことが読み取れました。

今後も、評価が形骸化することがないように、評価をしっかりと踏まえて成果を検証するとともに、次年度の改革改善の方向性をできる限り具体的に確認しておく必要を感じます。

結びに、この事務事業評価の取組が、教育委員会や教育行政全般、京田辺市の教育に対する市民のより深い理解と信頼につながることを期待します。

令和5年12月8日

京都教育大学大学院連合教職実践研究科 教授 小長谷 直樹
同 教授 佐古 清